
目次

Mercury-LAVIS バックアップ・リストア（復元）手順書

1. 地区データのバックアップ	1
1-1 地区データの個別バックアップ	1
1-2 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）	3
1-3 サーバーツールによる地区データのバックアップ （サーバークライアントインストールしている場合のみ）	5
2. 全設定のバックアップ	7
3. ユーザー定義帳票のバックアップ	9
4. 相続関係図のバックアップ	10
5. 地区データのリストア（復元）	11
5-1 地区データの個別リストア	11
5-2 サーバーツールによる地区データのリストア （サーバークライアントインストールしている場合のみ）	13
6. 全設定のリストア（復元）	15
7. ユーザー定義帳票のリストア（復元）	17
8. 相続関係図のリストア（復元）	18

1

地区データのバックアップ

Mercury-LAVISの地区データは、以下のいずれかの方法でバックアップします。

1-1. 地区データの個別バックアップ

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にバックアップします。

1-2. 地区データの一括バックアップ (Ver.4以降)

※ Ver.4以降は、地区データの一括バックアップが可能です。

1-3. サーバーツールによる地区データの一括バックアップ

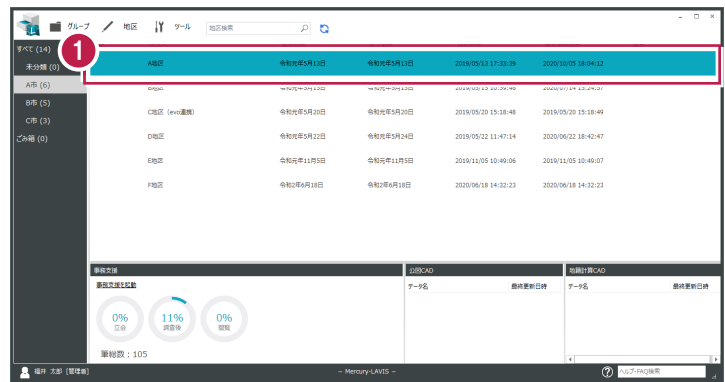
※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括バックアップすることができます。

1-1 地区データの個別バックアップ

選択されている地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をバックアップします。

バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

① バックアップする地区データを選択します。



② [ツール] - [バックアップ] - [地区] をクリックします。



3 [地区のバックアップ] ダイアログが表示されます。

バックアップ先のフォルダーを指定します。

4 バックアップファイル名（拡張子「.lvx」）を指定します。

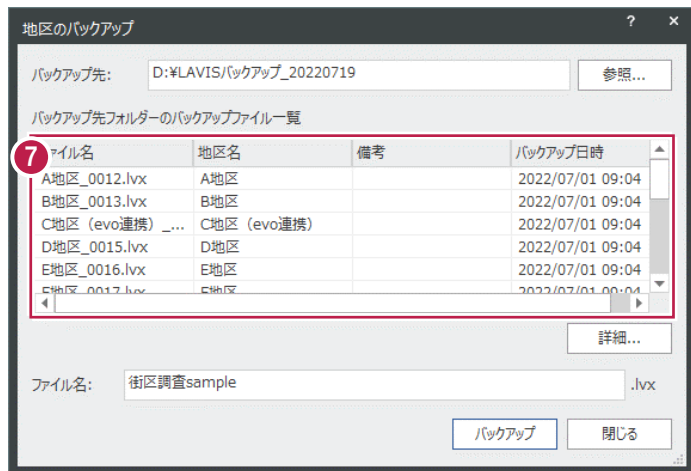
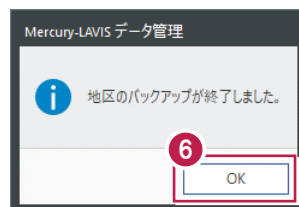
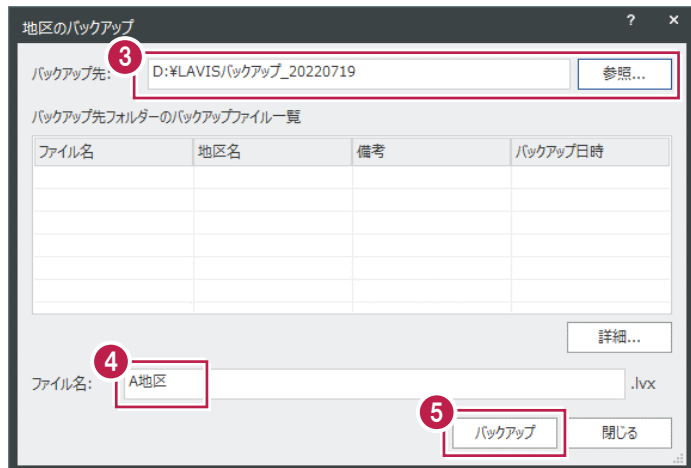
5 [バックアップ] をクリックします。

バックアップが開始されます。

※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。

6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。

7 同様の手順で、残りの地区データを個別にバックアップします。



1-2 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括バックアップします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [地区（一括）] をクリックします。



- 2 [地区の一括バックアップ] ダイアログが表示されます。

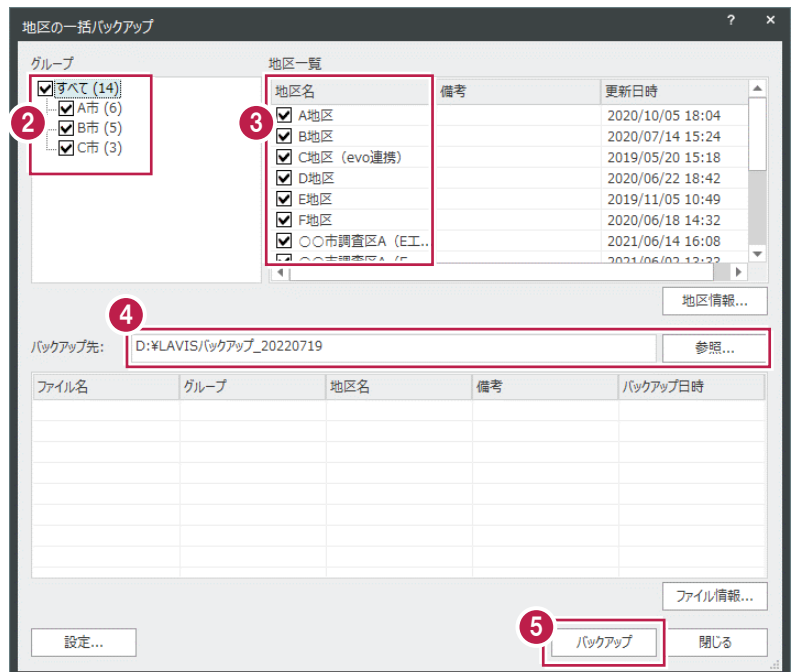
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

- 3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

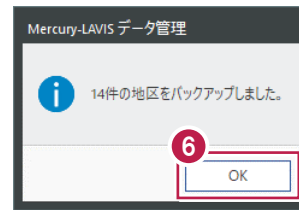
- 4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- 5 [バックアップ] をクリックします。
一括バックアップが開始されます。

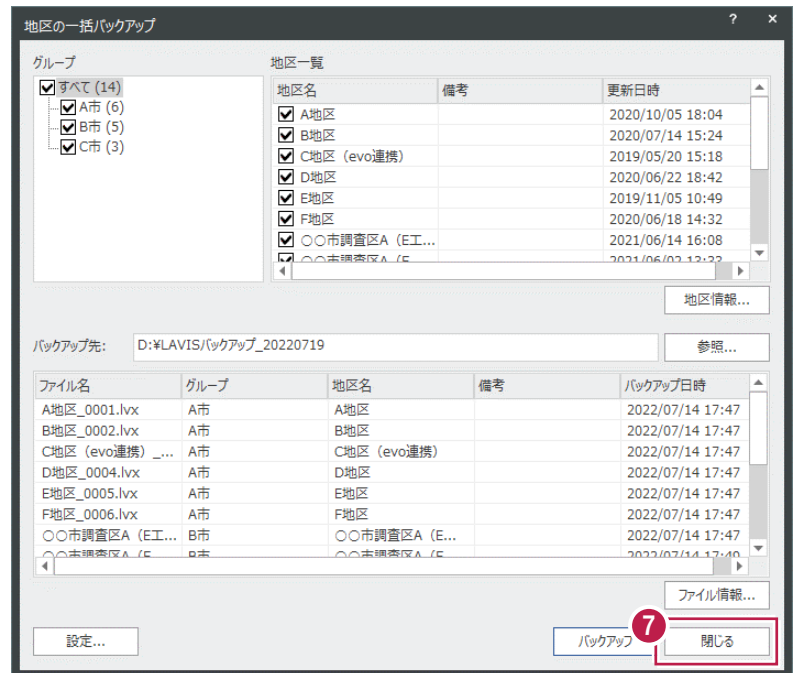
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。

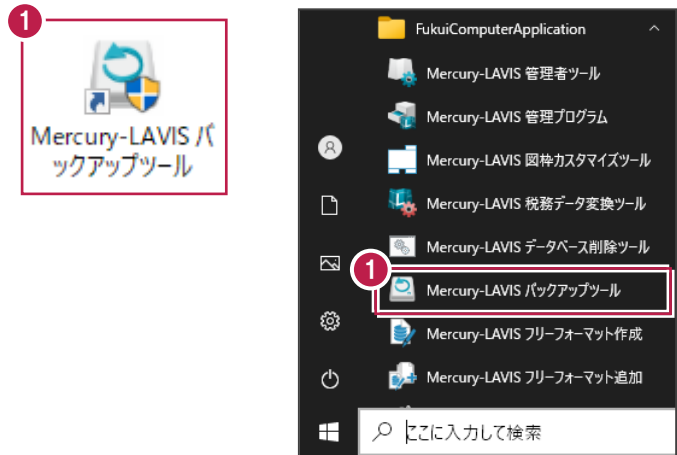


1-3 サーバーツールによる地区データのバックアップ^① (サーバークライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括バックアップします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。



- 2 「バックアップツール」が起動します。

[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

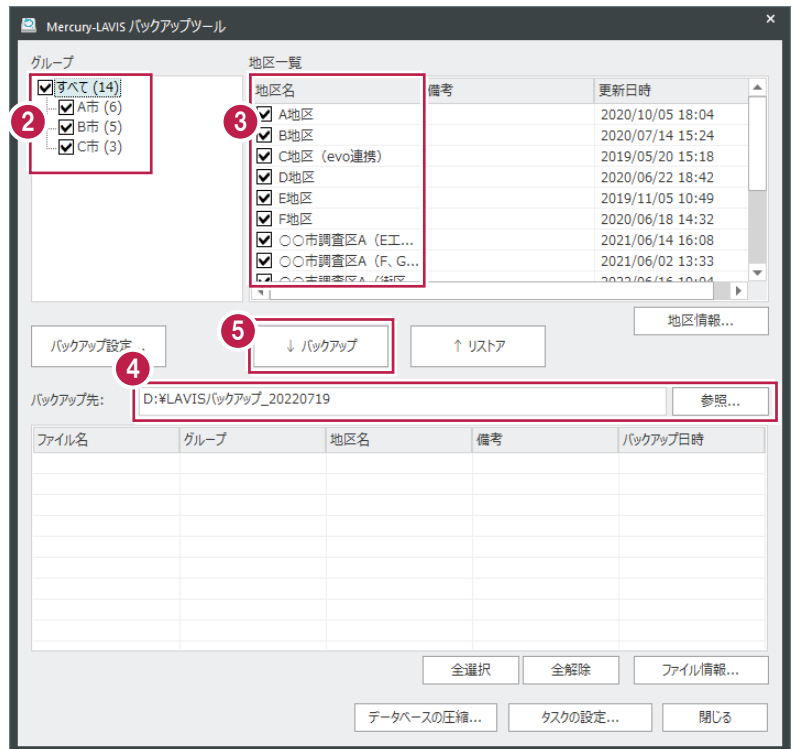
- 3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

- 4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- 5 [バックアップ] をクリックします。

バックアップが開始されます。

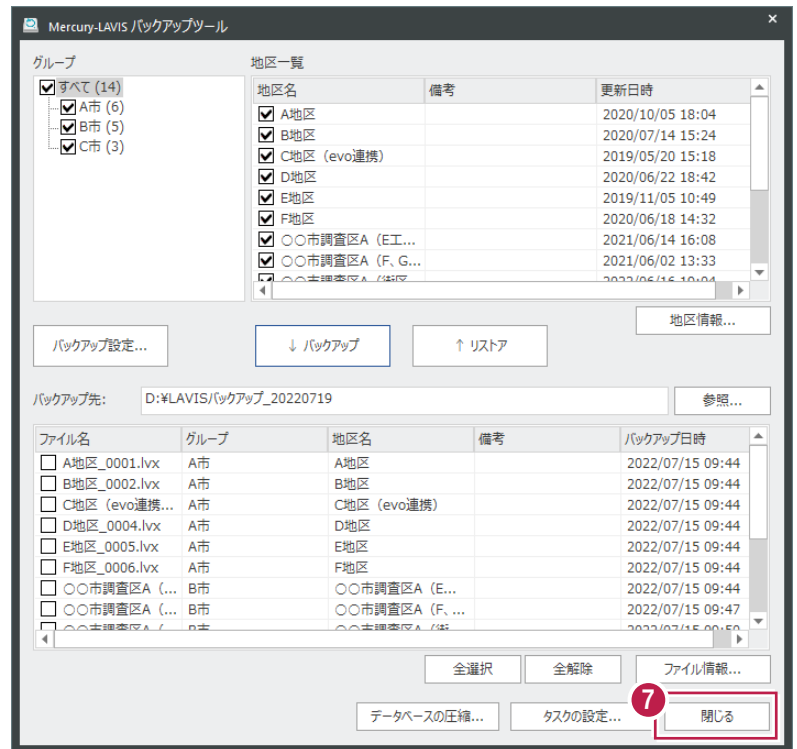
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。



2

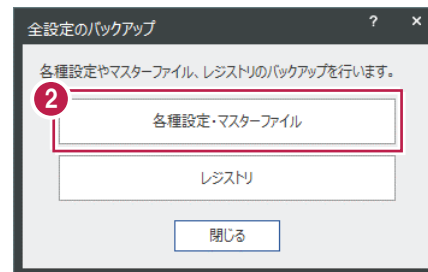
全設定のバックアップ

Mercury-LAVISの各種設定やマスターファイル、レジストリをバックアップします。
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

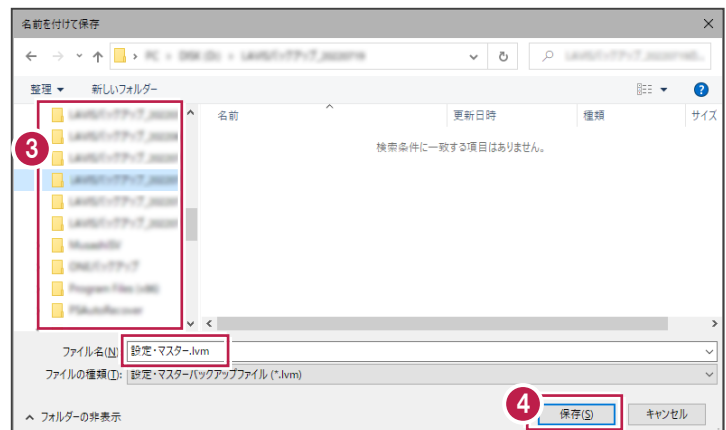
- 1 [ツール] - [バックアップ] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定バックアップ] ダイアログが表示されます。
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

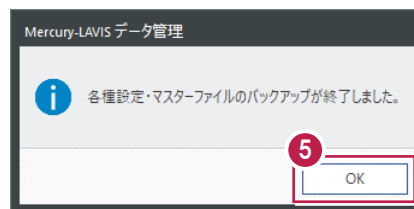


- 3 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
保存先、ファイル名を指定します。



- 4 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。

- 5 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 6 [レジストリ] をクリックします。



- 7 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 8 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 9 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックして、終了します。



3

ユーザー定義帳票のバックアップ

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をバックアップします。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「CustomForm」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



4

相続関係図のバックアップ

「相続関係図プログラム」のデータをバックアップします。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「InheritData」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

- 1 [ツール] - [相続関係図]
- [バックアップ] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

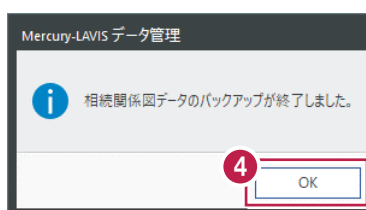
保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



5

地区データのリストア（復元）

Mercury-LAVISの地区データは、以下のいずれかの方法でリストア（復元）します。

5-1. 地区データのリストア

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にリストアします。

5-2. サーバーツールによる地区データの一括リストア

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括リストアすることができます。

5-1 地区データのリストア

選択されている地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をリストアします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

① [ツール] - [リストア] - [地区] をクリック
します。



② [地区のリストア] ダイアログが表示されます。
リストア元のフォルダーを指定します。

③ バックアップファイル（拡張子「.lvx」）を指定し
ます。

④ リストア先のグループを指定します。
ここでは [バックアップ時のグループ] を選択し
ます。

⑤ [リストア] をクリックします。
リストアが開始されます。

※ リストアするデータによっては、時間がかかる場
合があります。



6 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



状態	地区名	開始期日	終了期日	作成日時	最終更新日時	備考
	〇〇市調査区A	令和4年9月14日	令和4年10月14日	2022/09/14 10:01:29	2023/10/31 14:58:24	
	手塚町A地区	令和5年4月4日	令和5年4月4日	2023/04/04 11:20:17	2023/06/21 13:10:36	
	相模原区	令和5年4月5日	令和5年4月5日	2023/04/05 15:09:59	2023/04/05 15:14:55	
	街区調査	令和5年4月5日	令和5年4月5日	2023/04/05 09:42:38	2023/06/01 14:57:30	
	リストア~〇〇市調査区A	令和4年9月14日	令和4年10月14日	2022/09/14 10:01:29	2023/10/31 14:58:24	

グループ内に同じ地区名のデータがある場合は、地区名の前に「リストア~」が付いて、別名としてリストアされます。

筆総数 : 285

0% 立会
0% 調査後
0% 閲覧

地籍計算CAD

データ名	最終更新日時
令和〇年度〇〇市地籍調査	2023/10/31 14:58:24
令和〇年度〇〇市地籍調査_02	2022/09/21 16:41:53

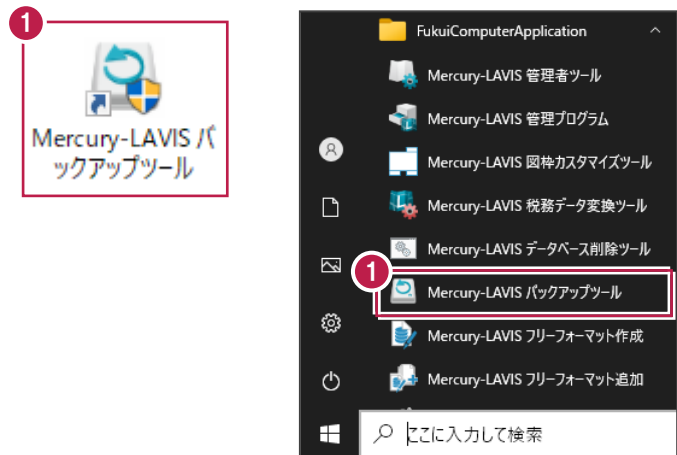
fukuj_taro [管理者] Mercury-LAVIS ヘルプ・FAQ検索

5-2 サーバーツールによる地区データのリストア (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括リストアします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。

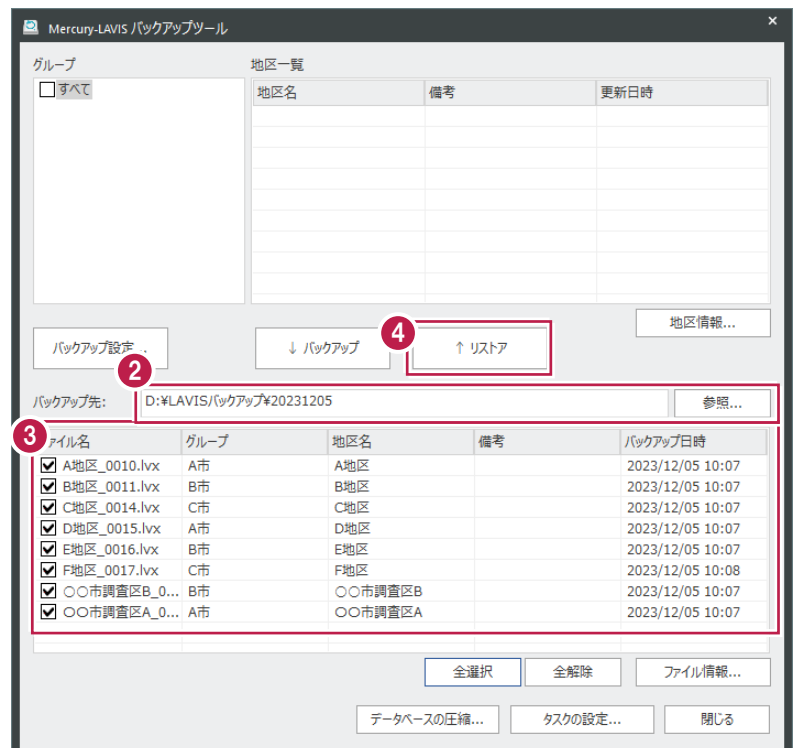


- 2 「バックアップツール」が起動します。
[バックアップ先] に、バックアップ先のドライブ、フォルダ名を入力します。

- 3 リストアする地区のチェックを ON にします。

- 4 [リストア先] に、リストア先のドライブ、フォルダ名を入力します。

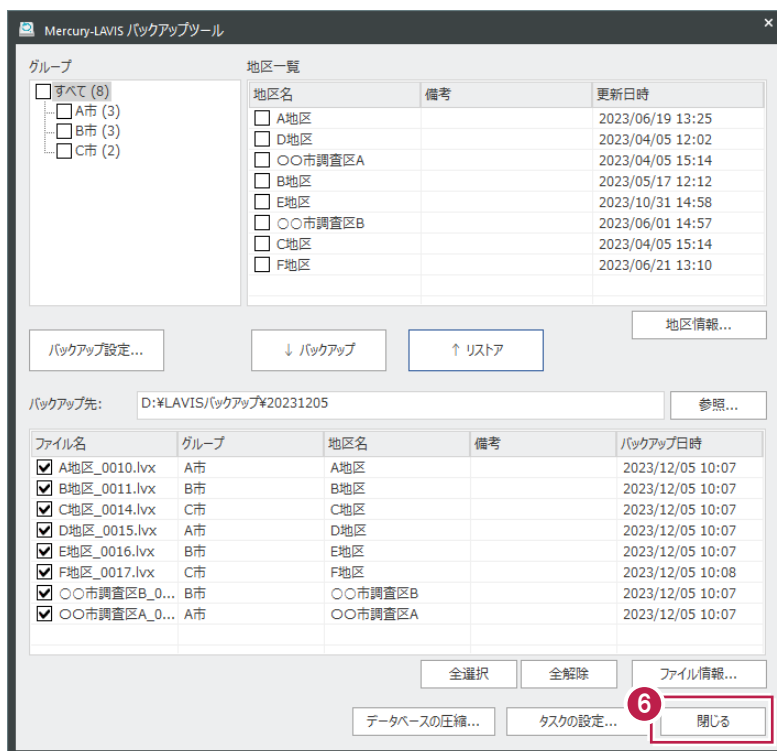
※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックして、終了します。



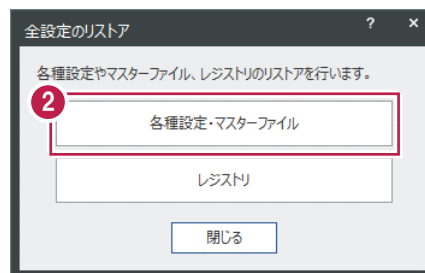
6 全設定のリストア（復元）

Mercury-LAVISの各種設定やマスターファイル、レジストリをリストアします。
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

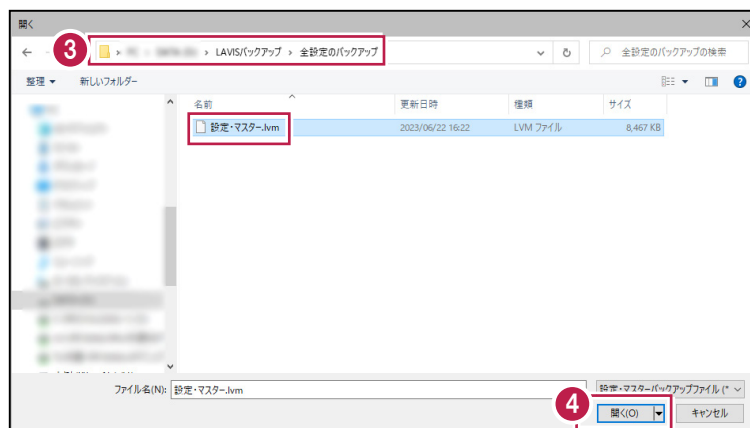
- 1 [ツール] - [リストア] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定のリストア] ダイアログが表示されます。
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

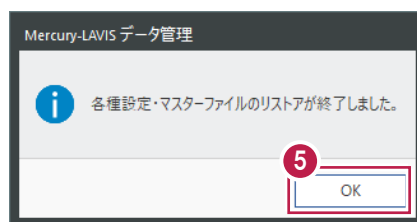


- 3 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

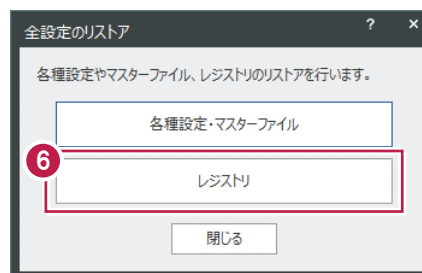


- 4 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

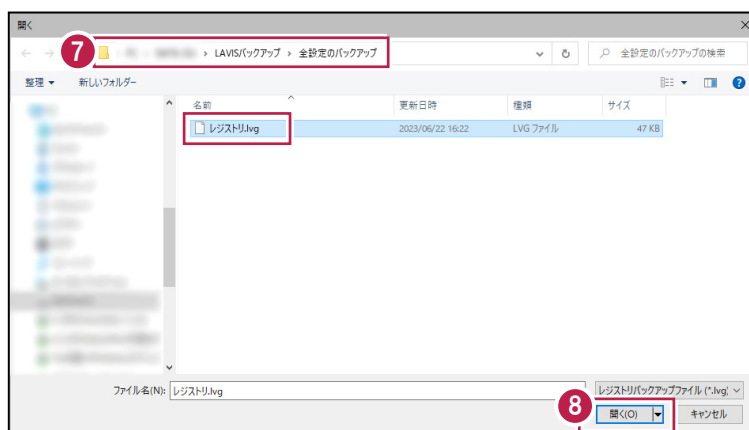
5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [レジストリ] をクリックします。



7 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



8 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

9 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックして、終了します。



7

ユーザー定義帳票のリストア（復元）

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をリストアします。

バックアップファイルは複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されています。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

- 1 [ツール] - [リストア]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。

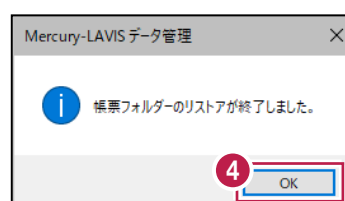


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。

- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。



- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



8

相続関係図のリストア（復元）

「相続関係図プログラム」のデータをリストアします。

バックアップファイルは複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されています。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

- ① [ツール] - [相続関係図] - [リストア] をクリックします。



- ② [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。



- ③ [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

- ④ リストアが完了したら、[OK] をクリックします。

